

ホームドクター

659

RSウイルス感染症と赤ちゃん

RSウイルス感染症はRSウイルスに感染することによって起きる呼吸器の感染症で、生まれたばかりの赤ちゃんから高齢者まで、幅広い年齢層で感染します。症状は軽い風邪のような症状から重い肺炎の症状までさまざまです。

新生児や乳幼児においてはウイルス性の風邪の主な原因のひとつであり、ほぼすべての新生児・乳幼児が2歳までに感染するとされています。毎年約12万～14万人の乳幼児(2歳未満)がRSウイルス感染症と診断され、約25%の3万人が入院し、そのうち6カ月未満の赤ちゃんが約40%の1万人以上を占めています(健康な乳幼児のRSウイルス感染症による入院の割

越谷市医師会
佐藤産婦人科
☎985-0310
さとう ともゆき
佐藤 智之



合は、インフルエンザの入院と比べ10倍以上とされています)。

また、海外では、1歳までにRSウイルス感染症で入院したお子さんでは、そうでないお子さんと比べてぜんそくの発生率が高かったことが報告されています。

特に注意が必要なのは、生まれてから6カ月以内の赤ちゃんは、免疫が弱く感染すると重症化する可能性があります。

RS感染症に対する治療法は、主に症状を和らげる対症療法です。呼吸困難が強いなど重症化すると入院が必要になり、そして点滴、酸素投与、時には人工呼吸器で治療をします。

残念ながら特効薬はなく、予防がとても大切です。予防の方法として、ご家族の日常生活における予防対策とワクチンなどがあります。生まれる前に、妊娠中のお母さんに接種し、赤ちゃんを守るワクチン(RSウイルス母子免疫ワクチン)があり、定期接種の対象で公費接種(無料)が可能です。定期接種には、対象・接種推奨時期や注意事項などがあります。かかりつけ医にご確認ください。

生まれたあとに、赤ちゃんに直接接種しRSの働きを抑える新しい注射もあります。現時点では定期接種対象外で自費接種です(そのほか、早産で生まれた赤ちゃんや、基礎疾患のあるお子さんに接種するワクチン)。

RSウイルス感染症で、必ずしも重症化や入院につながるとは限りません。赤ちゃんをRSウイルスから守るための選択肢としてご検討いただき、不安なことや気になることがある方は、医療機関等にご相談ください。

高齢者インフルエンザ・新型コロナ予防接種

実施期間・回数 令和9年1月31日(日)まで。年度内各1回

会場 こしがや保健ガイドまたは市ホームページを参照

対象 市内在住で次の①・②のいずれかに該当する方。①65歳以上 ②60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスによる自己免疫に障がいがあり身体障害者手帳1級を所持、またはそれと同等で医師の診断書がある

費用 ・インフルエンザ…1,500円 ・新型コロナ…9,800円

*次の①～③に該当する方は無料となります。

①市民税非課税世帯(事前の無料券発行手続き必須)

申請場所：▷健康づくり推進課…当日発行可能

▷なんでも相談窓口(エントランス棟1階)、北部・南部出張所、各地区センター…申請後、約2週間後に発送

②生活保護世帯

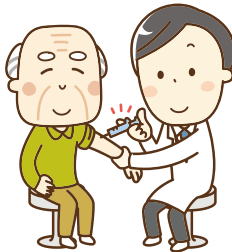
③中国残留邦人等支援給付制度適用の方

持ち物 マイナ保険証等(上記②の方は受給証、③の方は本人確認証)

申込み 実施医療機関に直接予約(受診券の個別送付はありません)。市外での接種を希望する方は、事前に健康づくり推進課へ

☎健康づくり推進課(保健センター1階)☎960-1100

HP高齢者インフルエンザ…55773、高齢者新型コロナ…85593



10月は骨髄バンク推進月間です！

ドナー登録 にご協力を！

骨髄バンクは、白血病をはじめとする血液疾患のため「骨髄移植」などが必要な患者さんと、それを提供するドナーをつなぐ公的事業です。

ドナーが見つかる確率は他人の場合、数百～数万分の1。移植を希望するすべての患者さんがチャンスを得るためには、1人でも多くの方のドナー登録が必要です。日本では、毎年新たに約1万人の方が白血病などの血液疾患を発症しており、そのうち、骨髄バンクを介する移植を必要とする患者さんは、毎年約2,000人以上です。

しかし、登録バンクに登録している患者さん(国内)のうち、実際に移植を受けることができる方は1,200人程度で、希望する方の約6割となっています。

越谷市における骨髄移植ドナー支援事業

骨髄・末梢血幹細胞の提供した市民に対して助成金を交付しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

☎地域医療課☎972-4777、HP8166



ワークアクティブアカデミー ～職場から始める健康づくり～

日時 11月14日(土)13:30～16:30

会場 東武スポーツクラブプレオン北越谷(大沢3-4-21)

内容 ①「健康経営」ってなんだろう？ ②講義「働く世代の健康リスクと予防医学」(講師：獨協医科大学埼玉医療センター糖代謝・内分泌内科准教授の原健二さん) ③スポーツインストラクターによる「職場でできる健康体操」 ④(株)東武スポーツによるスポーツクラブ体験会。受講した企業には修了証を交付

対象 市内に住所を有する企業の経営者・人事担当者・従業員50人(先着。各企業2人まで)

持ち物 屋内シューズ、タオル、飲み物等

申込み 10月1日(木)から。電子申請、電話

*企業での申し込み

☎健康づくり推進課☎960-1100、HP108661



コバトン 11月は 糖尿病 予防月間 です



日時・内容・申込日時・電子申請

下表のとおり

会場 保健センター

対象 市内在住の方

申込方法 電子申請、電話

☎健康づくり推進課☎960-1100、HP8644

日時	内容(講師・詳細 HP)	申込日時	電子申請
11月6日(金) 10:00～12:00	はじめてのウォーキング教室 自分に合った強度や効果的な歩き方などの講話と実践(HP119643)	10月14日(水) から	
11月11日(水) 14:00～15:30	血糖値が高めのかたへ 糖尿病予防セミナー (越谷レイクタウン内科医師の藤本まどかさん(HP8636))	10月7日(水) から	
11月25日(水) 14:00～15:30	糖尿病との向き合い方セミナー ～ここで食い止める！ 重症化を防ごう～ (まつもと内科医師の松本和久さん(HP124899))	10月14日(水) から	